

# あいち農産物生産流通レポート

平成29年4月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 日持ち性の優れるスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農1号」	(農業総合試験場) 1
・ 「こってりだけじゃない。ディスカバー愛知フェア」で 愛知県の春野菜・果物をPR	(東京事務所) 3
◎ 地域トピックス	
・ 市場と惣菜(そうざい)会社のWIN-WINな関係	(尾張農林水産事務所) 5
◎ 東日本情報	
・ 春に向けキャベツの競合産地を調査	(東京事務所) 6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	22

※ 今月、「西日本情報」、「フラワーページ」はありません。

## 内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。  
それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧下さい。



## 日持ち性の優れるスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農1号」

農業総合試験場

### 1 はじめに

カーネーションは、キク、バラと並ぶ三大打り花のひとつで、愛知県は出荷本数 4,700 万本で全国 2 位となっています（平成 27 年産、農林水産統計）。

しかし、関税が廃止された昭和 60 年以降、切り花の輸入は増加傾向で、平成 27 年には安価な輸入カーネーションが国内流通量の 56% を占めるほどに増加し、価格の長期低迷が続いています。そこで、国産カーネーションの需要拡大を図るため、国産品の強みである日持ち性をさらに強化する良日持ち性スプレーカーネーション品種の育成に国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）と共同で取り組みました。今回、ピンク色で日持ち性の極めて優れるスプレーカーネーション「カーネ愛農1号」を開発しましたので紹介します。

### 2 育成経過

農研機構が育成したスタンダードタイプの良日持ち性系統「108-44」を育種素材とし、平成 18 年及び 21 年の 2 回、スプレーカーネーションと交配を行った後代系統から花色、花型等切り花品質や収量性、日持ち性等に優れた個体の選抜を繰り返しました。24 年からは愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会の協力を得て、現地での試作や市場性の評価を行い、27 年に育成を完了し、名称を「カーネ愛農1号」としました。

日持ち性が極めて良い「カーネ愛農1号」は、新品種として実用性が高いと判断し、27 年 6 月に品種登録出願を行い、9 月に国から出願公表（出願番号第 30253 号）されました。

### 3 「カーネ愛農1号」の特徴

- ・日持ち性が一般的な品種の 3 倍程度と極めて良く、室温 25℃ の条件下では 3 週間程度、花を楽しむことができます。
- ・需要の高いピンクの花色で、花径が大きく花にボリューム感があります。
- ・開花が早く、本県の一般的な栽培では 10 月から翌 5 月まで出



カーネ愛農1号 対照品種  
日持ち性の比較（試験開始 9 日目）

荷が可能です。

- ・温暖地栽培では軟弱になりやすい一番花から茎が硬いため、国産の端境期である秋期にも高品質な切り花を多く出荷できます。



「カーネ愛農1号」

#### 4 流通について

「カーネ愛農1号」は、28年度から『ドリーミーブロッサム』の名称で本格的に出荷が始まっています。種苗会社3社の利用を許諾し、愛知県と農研機構が共同で開発した国産カーネーションとして、本県のみならず、全国での普及拡大を目指しています。全国各地でさまざまな作期で生産出荷されることで、年間を通じて日持ちの良い国産カーネーションの購入が可能となり、評価の高まりが期待されます。

なお、本研究は、農林水産省の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「良日持ち性および萎凋細菌病抵抗性を有するカーネーション品種の開発」により実施しました。

## 「こってりだけじゃない。ディスカバー愛知フェア」で 愛知県の春野菜・果物をPR

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

### 〇はじめに

愛知県では今年度から、首都圏在住の方々に向けて、本県の多彩な食と観光の魅力をPRし、誘客促進を図ることを目的に、東京都内を中心に愛知の観光物産展「こってりだけじゃない。ディスカバー愛知フェア（以下「フェア」という）」を開催しています。

このたび、平成29年3月18日（土）、19日（日）の二日間、東京都千代田区有楽町の「東京交通会館」1Fピロティで、今年度第10回目のフェアが開催されました。

第10回目のフェアでは、愛知県及びJAあいち経済連で構成される「愛知県農産物需要拡大推進協議会」がブース出展し、愛知県の春野菜・果物のPRとして、農産物の販売を行いました。

### 〇フェアは大盛況

フェアでは、愛知県農産物需要拡大推進協議会を始め、小麦「きぬあかり」を使用したきしめん等の販売を行う「(株)樽政本店」や、自然薯「夢とろろ」を使用したドーナッツを販売する「(株)自然薯工房くいもんや源」など、計13ブースで愛知県の様々な特産品の販売がされました。

また、会場には愛知県観光PRキャラクター「ひでっち」をはじめ、ご当地キャラクター「はち丸」、「トヨッキー」、「おだいちゃん」が登場したほか、声優でコスプレヤーの神楽くるるさん、俳優の宮田大樹さんも応援に駆けつけ、大変盛り上がりのあるイベントとなりました。



愛知県観光PRキャラクター  
「ひでっち」も応援

### 〇愛知県産の春野菜・春果物を販売

愛知県農産物需要拡大推進協議会ブースでは、愛知県の春野菜・果物として、春キャベツ、トマト、ミニトマト、スナップえんどう、ふき、いちご（ゆめのか）など計9品目を販売しました。

ブースにはたくさんの来場者が訪れ、初日で売り切れになってしまう品目が出るなど、大変賑わいのある販売となりました。



愛知県農産物需要拡大  
推進協議会ブースの様子①

また二日目には、「昨日買って帰って食べてみたけど、とてもおいしかった。」と再訪する来場者もいるなど、その食味や品質も高く評価されました。

なお、フェアが開催された「東京交通会館」では、豊橋市が定期的に農産物や農産加工品を販売しています。この影響もあり、「豊橋のトマトはおいしいので、いつも購入しています。」と話をされる方もみえるなど、愛知県産農産物に固定のファンがついていることも伺えました。



愛知県農産物需要拡大  
推進協議会ブースの様子②

首都圏における愛知県産農産物のファンを増やしていくためには、まず手にとって、食べていただくことが効果的です。

今回のフェアのように、消費者の方に愛知県産農産物を手にとっていただき、その品質の高さを印象づける機会を創出していくことが、愛知県産農産物の需要拡大を図るうえで非常に重要であると感じました。

## 市場と惣菜（そうざい）会社のWIN-WINな関係

尾張農林水産事務所

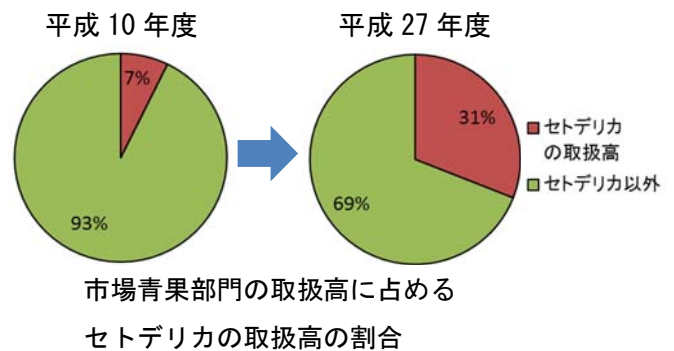
瀬戸市にある尾張東地方卸売市場内にて業務を行っている、瀬戸総合卸売市場（株）（以下「市場」という。）と惣菜会社の（株）セトデリカ（以下「セトデリカ」という。）の取組について紹介します。

### ○設立の経緯

セトデリカは、東海地方に惣菜類を供給する拠点として、平成10年に多量の野菜を有利に仕入れることができる市場の近くに設立されました。これは、市場にとって大口の販売先の確保や運搬コストの削減等の利点にもなっています。

### ○現状

市場は、取扱高が減少傾向にあり、青果部門の取扱高は平成27年度に平成10年度の約66%にまでなっています。一方、セトデリカの売上は伸び続けており、平成27年度売上高は5年前の約112%となりました。そのこともあって、市場青果部門の取扱高に占めるセトデリカの取扱高は年々増加しています。



セトデリカのメイン商品はポテトサラダ等のサラダ類や麺類、煮物等で、製造量は現在、約60,000パック/日です。製造量は設立年である平成10年度と比較して、施設増床や機械増設によって、約2.4倍に増えています。販売先は、主に東海4県と石川県、福井県のスーパーやコンビニ等です。



惣菜の例（ポテトサラダ）

セトデリカが市場から仕入れているのは、主にジャガイモ（約1,500t/年）、キャベツ（約650t/年）、レタス（約300t/年）、キュウリ（約250t/年）です。

### ○課題

市場における課題は、取扱量や地産地消の品目の増加等です。セトデリカにおける課題は、労働力の確保や生産過程の合理化、商品の差別化等です。

なお、双方にとっての課題は、仕入れの安定化であり、今後、産地訪問を強化する等、年間安定した価格での調達を目指して行きます。これからも、市場とセトデリカが良い関係を保ちつつ、価格、量、品質の安定化を目指して様々な品目で産地の開拓を行う予定です。



大人数が従事する  
パック詰め作業の様子

中食文化が定着し、惣菜のマーケットが拡大する中で、今後の市場とセトデリカの取組に注視していきます。

## 春に向けキャベツの競合産地を調査

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会（野菜連絡会会員卸売会社32社のうち12社で構成）は、春に向けた競合産地の状況把握のため、品質検討会と銚子地区（千葉県）、三浦・横須賀地区（神奈川県）の現地調査を2月21日に行いましたので、その概要をお知らせします。

### ○最近の入荷状況

東京都中央卸売市場における平成28年12月から翌2月までの主産地別入荷割合の状況を前年と比較しました（右図）。本年度は、12月から本県産シェアが50%を超えていました。また同時期の競合産地は千葉県、神奈川県、茨城県（以下県を省略）となっています。

この時期のキャベツの入荷状況は、前年同月比で産地ごとにみると

12月、1月は本県のシェアが増え、千葉が減少していました。2月は本県のシェアが減少し、千葉のシェアが増えています。

本県産が順調入荷されているのに比べ、千葉は8月の台風や、その後の曇雨天の影響を大きく受けたものと思われます。

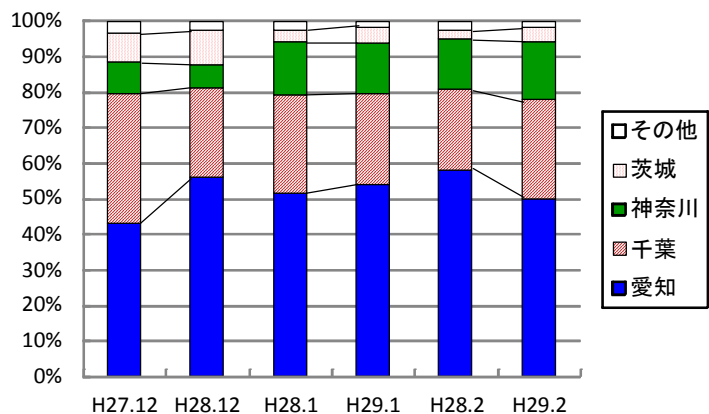


図 年内から年明けキャベツの主産地別入荷割合

### ○品質調査を実施

東京都中央卸売市場淀橋市場にある東京新宿ベジフル株式会社（新宿区北新宿4）において、品質調査が行われました。

品質調査は、春系：6産地※1 11銘柄、冬系：6産地※2 7銘柄を各1箱用意し、重量や玉揃い、切り口など9項目の審査が行われました。春系は、全体としては中間種は重量があつてボリュームがあり、品種の問題はありませんでしたが、本県産は外葉にアントシアンの目立つものが入っていました。神奈川や千葉では強風の影響で砂かみが多くみられました。冬系は、JAひまわりが玉揃いやボリューム等非常に良く、他の産地では外葉が多いものがみられましたので、目揃いの徹底が要望されました。

※1 本県（JAひまわり、愛知みなみ、豊橋、商系）、神奈川、千葉。

※2 本県（JAあいち知多、ひまわり、愛知みなみ、豊橋、商系）、千葉。



## ○競合産地現地調査を実施

銚子地区（千葉）と三浦・横須賀地区（神奈川）の現地調査が行われました。これは生育状況を過去と比較するために毎年12月上旬と2月下旬頃に開催し、今後の本県産の販売対策の参考にするものです。

銚子地区は風が強く、時折雪が舞うような天候でしたが、休市前日にもかかわらず多くの生産者が収穫していました。全体的には8玉中心出荷で、生産者からは「順調だ」と説明がありました。病虫害の発生もなく5月以降出荷の作型も生育良好な様子でした。

三浦・横須賀地区は、干ばつと強風の影響で砂かみが目立っていました。本春系は前年より遅く平年並の3月下旬から本格化する見込みでした。ほ場では定植後1、2週間程度の苗が風にあおられて根が地表にでているところがみられ、4月中旬頃にその影響が危惧されます。

本県産は3月、神奈川は4月、千葉は5、6月に出荷最盛期を迎えます。本県産は低温の影響で小玉傾向になってきていますが、今後は気温上昇と適度な降雨によって生育は回復してくると思われました。今シーズンの本県産キャベツは順調入荷しており、前年以上の販売実績が期待されます。



春キャベツの生育状況の聞き取り（銚子地区）



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な産地
	28年実績	1,128	499 (44%)	337	303
29年見通し	1,100	— ( )	340	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
静岡、愛知を中心に茨城、長野などから入荷する。静岡、愛知は周年で、長野は6月から9月が中心に入荷する。愛知は安城、豊橋が主な産地となっている。各産地ともに作付けの大きな変化はなく横這い。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。			夏場はどうしても生育に影響が出てS、M中心になったり、商品が傷みやすいので、特に品質に気をつけていただきたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
	28年実績	1,128	312 (28%)	1,253	1,506
29年見通し	1,300	—	1,100	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
本県産の入荷が3割弱を占め、中国、鹿児島、福島がこれに続く。本県、福島の生育はおおむね良好で2、3月に降雨が少なかった影響で前進傾向にある。前年雪害のあった鹿児島は生育良好で順調出荷が期待できる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。			さやえんどうは、イベント事に欠かせない人気商材である。スナップえんどうは量販店からの発注が多く4月の売り込み商材として力を入れている。本県産の品質は良好なことから、このまま品質を維持し、生産量の確保と安定出荷をお願いしたい。		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	24年	32,041	232	238	244	221	愛知 27%
	25年	36,234	230	220	231	234	北海道 16%
	26年	33,159	210	212	208	206	鹿児島 8%
	27年	32,791	259	242	269	257	茨城 8%
	28年	33,834	242	0	0	0	徳島 6%
	5ヵ年平均	33,612	235	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	33,100	235	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、北海道を中心に鹿児島、茨城などから入荷する。年明け以降、降雪の影響もあった産地もあったが、限定的で影響は少ない。2月以降は日照量も多く、果菜類を中心に順調な生育となっている。</p> <p>入荷量、価格ともに前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	24年	1,771	133	197	138	91	愛知 49%
	25年	2,373	74	74	71	87	千葉 41%
	26年	2,002	82	78	84	89	鹿児島 6%
	27年	1,980	124	116	131	131	長崎 2%
	28年	2,058	108	125	113	94	
	5ヵ年平均	2,037	102	115	105	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	2,000	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、千葉を中心に鹿児島などから入荷する。千葉は全体的に小さくL中心。今後は肥大してくる。愛知の春だいこんは平年並の予想。上旬は増えるが、少なめか。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	24年	1,763	195	183	219	179	徳島 97%
	25年	2,242	163	191	163	137	愛知 1%
	26年	2,360	133	153	131	119	熊本 1%
	27年	2,238	146	127	161	144	
	28年	1,839	174	152	173	192	
	5ヵ年平均	2,088	160	160	167	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	2,100	150	150	150	150		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>ほぼ徳島の春にんじんの入荷となる。やや早めに入荷がはじまり順調な入荷ではじまった。中旬から5月初めにかけてピークとなる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	122,775	250	270	249	231	千葉 15%
	25年	142,680	213	211	211	216	茨城 15%
	26年	136,391	227	222	230	229	北海道 9%
	27年	127,933	284	266	288	295	神奈川 7%
	28年	131,769	267	272	267	264	愛知 6%
	5ヵ年平均	132,310	247	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	131,500	255	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。土物類は北海道が終盤を迎える。根菜類は台風の影響下にあり、葉茎菜類、果菜類は天候に恵まれ生育はおおむね良好。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	24年	10,404	140	202	141	87	千葉 74%
	25年	12,197	74	71	65	89	茨城 10%
	26年	12,582	79	67	78	90	神奈川 8%
	27年	11,066	121	110	127	125	鹿児島 5%
	28年	10,805	104	113	110	91	
	5ヵ年平均	11,411	102	110	102	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	10,700	102	105	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に茨城、神奈川、鹿児島からの入荷となる。千葉は強風と干ばつの影響があったが3月の降雨で回復傾向にあり中旬から入荷ピークを迎える。神奈川は上旬で出荷終了見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
にんじん	24年	6,538	176	159	192	173	徳島 73%
	25年	8,189	159	179	161	139	千葉 7%
	26年	8,650	131	145	127	123	静岡 5%
	27年	7,726	141	117	150	149	北海道 4%
	28年	7,313	163	134	159	189	青森 2%
	5ヵ年平均	7,683	153	147	156	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	7,600	145	155	145	135		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島を中心に千葉、静岡等からの入荷となる。徳島は生育良好で前進出荷傾向、M中心出荷で順調出荷が期待できる。千葉は終盤を迎え、台風の影響から出荷は前年より少ない見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	1,747	98	126	104	68	茨城 51%
	25年	1,802	61	59	54	74	愛知 21%
	26年	2,068	61	64	58	61	三重 10%
	27年	1,814	130	90	152	153	長崎 10%
	28年	1,716	101	120	99	92	熊本 6%
さい	5カ年平均	1,829	89	91	92	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	90	90	100	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に愛知、長崎、熊本などから入荷する。愛知は愛知西から出るが、やや減少。茨城はじめ各産地生育も良く、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	24年	4,244	110	108	115	117	愛知 83%
	25年	4,298	95	88	94	109	神奈川 8%
	26年	4,222	78	76	81	80	茨城 3%
	27年	4,112	132	103	135	149	三重 2%
	28年	3,966	109	95	113	123	兵庫 2%
べっ	5カ年平均	4,168	105	94	107	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,000	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に神奈川などから入る。定植時期の長雨の影響が3月まで続き入荷は少なかつた。4月も加工等で需要は多い中、生育は順調だが、多くはない。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
ほうれんそう	24年	328	393	467	388	370	愛知 54%
	25年	265	483	395	527	598	茨城 20%
	26年	259	440	309	552	504	岐阜 17%
	27年	242	594	537	600	673	長野 3%
	28年	297	504	523	460	549	群馬 2%
れん	5カ年平均	278	478	448	497	529	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	280	500	450	500	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主体に岐阜、関東ものが入荷する。愛知は生育順調で安定した出荷。岐阜は3月の気温が低く入荷に影響が出そう。関東が順調で早めに入荷がある見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	24年	6,052	93	143	80	61	茨城 94%
	25年	6,921	53	61	38	62	兵庫 2%
	26年	6,255	53	65	46	48	千葉 1%
	27年	5,613	128	96	147	145	長崎 1%
	28年	6,028	98	125	95	80	
	5ヵ年平均	6,174	83	97	79	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	6,100	100	110	95	95		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。茨城は作付け前年並で干ばつの影響で小玉傾向の地域がみられるものの全体的には生育良好で2L中心の見込み。兵庫は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は5月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は5月～7月まで低下傾向にあり、8月以降は上昇傾向にある。</p>					
キヤベツ	24年	16,690	131	142	133	119	神奈川 46%
	25年	19,193	107	102	109	110	愛知 28%
	26年	19,117	94	87	103	92	千葉 20%
	27年	18,609	129	113	134	139	茨城 3%
	28年	17,540	115	104	113	126	
	5ヵ年平均	18,230	115	109	118	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	17,000	115	115	115	115		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>神奈川、愛知、千葉からの入荷が中心となる。神奈川は干ばつの影響で生育が遅れ小玉傾向で出荷は下旬にピークを迎える。千葉は中旬に出荷の谷ができ、愛知は中旬から減少する見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は5月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は5月～7月まで低下傾向にあり、8月以降は上昇傾向にある。</p>					
ほうろくそ	24年	1,239	413	428	422	385	茨城 35%
	25年	1,096	551	465	568	642	群馬 32%
	26年	1,193	509	417	639	500	埼玉 15%
	27年	1,157	609	561	673	604	千葉 7%
	28年	1,269	512	524	482	529	岩手 4%
	5ヵ年平均	1,191	517	479	554	529	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	1,260	433	440	430	430		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。主要産地の生育はおおむね良好で順調出荷が期待できる。埼玉は昨年のべと病発生の影響で作付け減。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は5月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は5月～7月まで低下傾向にあり、8月以降は上昇傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	24年	784	334	341	346	342	愛知 21%
	25年	789	286	262	304	336	大分 20%
	26年	708	330	323	339	365	鳥取 19%
	27年	707	393	317	449	449	静岡 9%
	28年	666	441	404	466	480	群馬 6%
	5ヵ年平均	731	354	327	377	391	
ぎ	29年見通し	650	400	380	400	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、大分、鳥取など各地から入荷する。愛知は1月の積雪の影響で入荷が少ない状態が続いた。鳥取の白ねぎは1、2月の大雪の影響で少ない。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
し	24年	1,727	214	283	201	178	兵庫 45%
	25年	1,649	235	196	245	272	茨城 39%
	26年	1,877	189	151	193	228	長野 7%
	27年	1,954	287	249	306	309	愛知 5%
	28年	1,883	219	241	228	195	群馬 2%
	5ヵ年平均	1,818	229	224	235	237	
ス	29年見通し	1,800	200	250	150	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫、茨城を中心に長野などから入荷する。茨城は2週間ほど早く、上旬は少なくなる。兵庫は下旬にはラップ物に切り替える。長野も早めの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る。</p>							
き	24年	1,448	244	256	236	254	愛知 47%
	25年	1,735	230	255	252	200	群馬 16%
	26年	1,608	248	244	254	254	宮崎 13%
	27年	1,377	359	289	548	319	高知 11%
	28年	1,560	263	265	285	256	長野 6%
	5ヵ年平均	1,546	266	261	309	254	
り	29年見通し	1,550	250	250	250	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に群馬、宮崎、高知などから入荷する。愛知は昨年が多かったため、それよりは少ないが、安定した入荷となる。群馬は早めの生育。ピークもなく順調に入荷する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	3,754	255	243	268	253	千葉 44%
	25年	4,301	223	228	192	261	埼玉 24%
	26年	4,051	243	242	228	258	茨城 9%
	27年	3,689	329	260	384	344	栃木 5%
	28年	4,176	427	378	423	473	群馬 5%
ぎ	5カ年平均	3,994	295	271	297	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,000	330	320	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は秋冬ものは上旬で切り上がり、春ねぎは2L中心と太り良好で順調出荷が期待できる。埼玉、茨城の生育はおおむね良好。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	24年	7,474	209	260	197	173	茨城 59%
	25年	7,411	205	173	205	243	兵庫 11%
	26年	6,280	163	144	187	212	群馬 8%
	27年	7,449	281	247	297	303	福岡 4%
	28年	7,991	213	246	220	180	栃木 4%
ス	5カ年平均	7,321	216	217	222	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,800	170	180	170	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に兵庫、群馬などからの入荷となる。茨城は作付け面積微増。生育はおおむね良好で前進出荷傾向にある。兵庫は病害なく生育良好で順調出荷を見込む。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	24年	6,821	246	259	230	252	埼玉 26%
	25年	7,384	262	313	264	217	群馬 24%
	26年	7,024	282	286	284	278	茨城 13%
	27年	6,594	365	313	506	316	千葉 13%
	28年	7,764	263	261	280	251	宮崎 11%
り	5カ年平均	7,117	282	286	310	262	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,400	257	260	260	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬など関東産地を中心に宮崎からの入荷となる。埼玉は無加温の出荷が例年より早く始まり生育良好で順調出荷が期待できる。群馬は気温高の影響で一部徒長気味も生育はおおむね良好。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	24年	886	317	340	322	294	熊本 47%
	25年	867	307	305	318	301	愛知 44%
	26年	917	296	295	293	299	高知 6%
	27年	698	399	364	411	423	宮崎 2%
	28年	785	378	384	384	372	福岡 1%
す	5カ年平均	831	336	335	341	333	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	800	370	360	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		愛知の千両、熊本の長なすを中心に入荷する。昨年は熊本が地震の影響で入荷が減ったが、今年はその分が回復する。生育も良く安定した入荷となる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。					
ト マ	24年	1,112	455	486	451	432	熊本 56%
	25年	1,467	360	402	390	307	愛知 19%
	26年	1,451	333	333	336	331	三重 13%
	27年	1,368	430	440	423	429	岐阜 8%
	28年	1,466	390	432	416	342	群馬 2%
ト	5カ年平均	1,373	390	415	401	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,450	380	380	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		熊本を中心に愛知、岐阜、三重などから入荷する。日照量も多く、順調な生育となっている。4月は需要もあり、活発な取引を期待したい。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。					
ミ ニ ト マ	24年	329	752	713	755	778	熊本 49%
	25年	470	626	677	641	544	愛知 39%
	26年	454	579	582	565	569	和歌山 10%
	27年	469	706	704	703	700	宮崎 2%
	28年	503	744	790	807	666	
ト	5カ年平均	445	679	694	693	644	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	500	650	700	650	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		熊本、愛知を中心に入荷する。大玉同様に入荷量が増え、順調な生育となっている。大きな増減もなく安定した入荷となる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	24年	3,393	364	400	350	347	高知 55%
	25年	3,494	367	366	377	358	福岡 17%
	26年	3,544	366	348	363	405	群馬 7%
	27年	2,929	480	414	582	462	熊本 7%
	28年	3,730	418	426	409	421	佐賀 4%
す	5カ年平均	3,418	397	390	411	397	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,700	420	420	420	420	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		高知を中心に福岡など西南暖地、群馬からの入荷となる。高知は好天により着果よく生育良好で順調出荷が期待できる。福岡、佐賀は着花数が増えており出荷は増える見込み。 入荷量は前年並で、価格も前年並の見込み。					
マ	24年	5,928	472	502	466	446	熊本 28%
	25年	7,866	375	421	401	317	栃木 26%
	26年	7,623	361	360	366	357	愛知 10%
	27年	6,884	454	463	447	450	千葉 7%
	28年	7,845	403	446	421	364	埼玉 5%
ト	5カ年平均	7,229	409	435	417	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,800	360	380	360	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		熊本、栃木、愛知、千葉からの入荷が中心となる。各産地冷え込みで着色が鈍いが今後の気温上昇で回復する見込み。熊本は生育良好で順調出荷が期待できる。栃木、愛知は玉伸びよくL中心の見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ミ	24年	1,239	743	711	758	763	熊本 41%
	25年	1,918	583	629	617	507	愛知 21%
	26年	1,849	558	573	561	544	宮崎 11%
	27年	1,791	691	683	696	696	千葉 8%
	28年	2,101	676	716	741	612	静岡 6%
ト	5カ年平均	1,780	644	660	670	613	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,100	613	630	630	580	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。各産地冷え込みで着色が鈍いが今後の気温上昇で回復する見込み。熊本は下旬から最盛期を迎え、愛知は着果良好で順調出荷が期待できる。 入荷量は多かった前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	24年	610	473	559	446	449	宮崎 46%	
	25年	675	335	328	360	373	鹿児島 34%	
	26年	669	314	355	332	340	茨城 11%	
	27年	598	524	544	537	598	高知 9%	
	28年	679	407	424	412	431		
マ	5カ年平均	646	407	437	414	434	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	670	400	450	400	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 900 t			単価 円/Kg 900
		宮崎、鹿児島、茨城、高知中心の入荷となる。需要時期に入るため荷動きが良い。各産地ともに順調な生育で安定した入荷となる。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。						
ばれいしょ	24年	2,504	193	174	208	219	鹿児島 74%	
	25年	3,209	115	128	126	101	北海道 23%	
	26年	3,022	142	138	142	149	長崎 3%	
	27年	2,693	246	207	260	274		
	28年	2,642	268	274	287	256		
い	5カ年平均	2,814	188	181	200	195	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	2,700	200	200	210	190		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 4,000 t			単価 円/Kg 300
		鹿児島、北海道中心の入荷となる。北海道は中旬でほぼ終了する。鹿児島は徳之島が雨で掘り遅れ、4月にピークがくる。鹿児島本土が中旬にスタート、長崎は下旬に出る。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
たまねぎ	24年	4,899	112	112	125	113	北海道 66%	
	25年	6,487	72	88	76	70	愛知 30%	
	26年	4,090	134	149	132	122	静岡 1%	
	27年	5,239	101	98	107	92	熊本 1%	
	28年	6,353	75	82	81	73	宮崎 1%	
ね	5カ年平均	5,414	95	102	101	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	5,500	110	110	110	110		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 9,000 t			単価 円/Kg 200
		北海道の貯蔵ものを中心に愛知などから入荷する。北海道の残量は早めに減少している。愛知は出始めは早かった。碧南のサラ玉は10日ぐらいから増加する。静岡は上旬には終了となる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	1,927	479	525	450	462	茨城 54%
	25年	2,198	411	391	400	442	宮崎 22%
	26年	2,353	379	395	364	378	高知 14%
	27年	1,985	593	565	577	635	鹿児島 9%
	28年	2,330	455	470	445	454	
マ	5カ年平均	2,159	459	465	443	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,350	387	400	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に、西南暖地からの入荷となる。茨城は着果よく生育良好で前年以上の出荷を見込む。宮崎、高知も生育良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ばれいしょ	24年	8,685	160	147	166	169	北海道 50%
	25年	10,573	101	101	104	96	鹿児島 45%
	26年	9,700	133	126	128	142	長崎 5%
	27年	8,037	201	177	206	218	
	28年	7,876	238	243	246	227	
い	5カ年平均	8,974	161	154	164	165	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,500	210	210	210	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の貯蔵ものは終盤となる。鹿児島は収穫作業遅延の影響で大玉中心。雪害等被害なく前年以上の出荷を見込む。北海道は貯蔵ものが2割程度少ない模様。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
たまねぎ	24年	11,240	119	118	123	115	北海道 54%
	25年	17,027	71	86	70	61	佐賀 37%
	26年	13,416	125	144	122	116	長崎 3%
	27年	14,348	113	104	113	120	熊本 2%
	28年	14,423	87	85	90	86	中国 1%
ね	5カ年平均	14,091	101	106	101	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	14,000	105	120	105	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道の貯蔵ものが終盤になり佐賀からの新玉ねぎの入荷が本格化する。北海道はL大中心で貯蔵量は前年より少ない模様。佐賀は中旬から早生マルチものが始まるもべと病発生が危惧される。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	24年	7,816	353	358	336	363	青森 21%
	25年	8,811	335	335	325	339	フィリピン 18%
	26年	8,812	365	355	359	379	熊本 18%
	27年	7,427	395	382	381	421	愛知 10%
	28年	6,792	435	454	425	426	アメリカ(合) 7%
	5カ年平均	7,932	374	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	6,800	390	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内産の主な産地は、青森、熊本が中心、愛知も上位に入ってくる。各量販店の売り場では、小玉・下級品が多いりんごの代わりに、出だしの遅れを取り戻したいちごが占める見込み。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
いちご	24年	1,231	729	708	718	782	愛知 57%
	25年	1,034	885	864	899	901	熊本 26%
	26年	966	862	773	899	953	鹿児島 5%
	27年	833	965	891	1,000	1,053	佐賀 4%
	28年	956	910	900	865	964	三重 3%
	5カ年平均	1,004	860	820	865	919	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	900	900	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知中心で熊本からも入る。1月の遅れを取り戻し、2月以降順調に出荷。3番、4番果に切り替わり順調に入荷される。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年並みとなる見込み。</p>					
その他メロン (アールスメロンを除く)	24年	276	387	422	374	460	熊本 45%
	25年	506	291	207	280	374	メキシコ 44%
	26年	571	272	186	226	370	鹿児島 7%
	27年	319	350	233	428	428	アメリカ 1%
	28年	262	396	327	326	432	長崎 1%
	5カ年平均	387	323	252	308	402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	260	370	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、熊本とメキシコからの輸入物が中心。出荷は前倒し傾向で、出荷ペースが早く玉伸びもいい。施設栽培のため天候の影響も少なく順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

28年3月の見通しは定めていないため、グラフは空欄です。

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	24年	26,660	386	390	379	389	青森 21%
	25年	30,303	361	365	359	360	熊本 14%
	26年	28,649	400	397	397	405	愛媛 11%
	27年	27,804	427	434	415	433	フィリピン 10%
	28年	26,543	477	472	474	487	栃木 7%
	5ヵ年平均	27,992	409	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	27,200	440	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>柑橘類、いちご、りんごを中心に入荷するほか、すいかや春メロン、ハウスみかんなどの施設果樹類が入荷してくる。九州産のすいかは年明けからの好天により生育は前進傾向がみられる。柑橘類、りんごは前年以上の入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
いちご	24年	5,129	762	733	760	819	栃木 39%
	25年	4,426	893	888	915	870	福岡 20%
	26年	4,288	913	851	941	969	佐賀 11%
	27年	4,092	956	929	946	1,008	茨城 10%
	28年	4,930	949	923	979	948	静岡 8%
	5ヵ年平均	4,573	891	861	904	919	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,800	950	920	980	950	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀など各地から入荷する。栃木は大きな増減なく安定した出荷が続く。福岡は寒暖差が大きく仕上がりは良好。中旬以降はダラダラ減りながら推移する。佐賀は生育のばらつきがみられるが出荷量の大きな減少は無い見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
その他	24年	519	537	560	498	550	茨城 51%
	25年	798	495	438	544	480	熊本 33%
	26年	751	541	508	537	548	メキシコ 11%
	27年	623	622	606	605	636	宮崎 1%
	28年	766	583	605	542	635	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	691	554	554	535	571	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	750	600	620	580	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本からアンデス、クインシー、茨城からオトメメロンが入荷する。熊本のアンデスメロンは年明けからの好天で生育が前進しており、玉肥大も良く大玉傾向が見られる。茨城は好天で生育は前年より1週間程度の前進傾向となっている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

# 切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	24年	1,781	61	
		25年	1,813	44	
		26年	1,799	45	
		27年	1,510	51	
		28年	1,677	55	
	5ヶ年平均	1,716	51		
29年見通し	1,700	53			
概要	愛知、三重、沖縄を中心に入荷。沖縄産は前年よりは作付けが多少多いが、輪菊の生産は減少傾向にあり、平年並みの入荷か。一般需要は落ち着き、業務主体の動き。				
小 ぎ く	実 績	24年	1,249	27	
		25年	1,154	31	
		26年	1,253	24	
		27年	1,160	31	
		28年	1,227	34	
	5ヶ年平均	1,209	29		
29年見通し	1,250	30			
概要	沖縄を中心に入荷。昨年より作付けはやや増えており、天候にもよるが安定した入荷が見込める。一般の仏事需要は落ち着く時期でもあるため、出荷量によっては弱含みの展開が予想される。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	24年	1,476	38	
		25年	1,189	41	
		26年	1,368	34	
		27年	1,205	49	
		28年	1,237	50	
	5ヶ年平均	1,295	42		
29年見通し	1,250	45			
概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷。今年は1月中旬まで抑制がかかって彼岸まで数量は出たが、4月も残りが例年よりも少し多く出荷される。若干単価は厳しいが、引き合いもあるので、色によりバラツキがでる。				
か す み 草 う	実 績	24年	190	81	
		25年	214	78	
		26年	225	60	
		27年	235	74	
		28年	230	75	
	5ヶ年平均	219	73		
29年見通し	235	75			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。各産地順調で昨年より多めの入荷となる。一般需要のある前半は相場も安定、中旬以降はやや苦戦することもある。品種はアルtail中心。				



単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	24年	342	171	
		25年	337	186	
		26年	302	162	
		27年	324	172	
		28年	289	191	
	5ヶ年平均		319	176	
	29年見通し		300	190	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、宮崎などから入荷。順調な入荷で、昨年同様の数量。中旬までは一般需要もあり活発に動くが、下旬以降は苦しい販売となる。LAはやや多めの入荷。オリエンタル同様中旬までは活発。鉄砲は九州地区の彼岸遅れの影響で前半は昨年より出回り多く、中旬以降は落ちつく。業務中心で相場は弱安定。生育はいずれも良好。</p>				
洋らん	実績	24年	401	87	
		25年	408	84	
		26年	402	79	
		27年	411	85	
		28年	420	82	
	5ヶ年平均		408	83	
	29年見通し		420	83	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島等のほか輸入物が入荷。カトレアの入荷が一斉に増えて、状況としては厳しい展開となると予想される。シンビジュームは国産の入荷が減ってくる。胡蝶蘭は葬儀での使用が堅調で安定した状況となる。</p>				
ばら	実績	24年	911	70	
		25年	869	79	
		26年	879	68	
		27年	752	87	
		28年	864	66	
	5ヶ年平均		855	74	
	29年見通し		860	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。少し遅れていた高冷地も出荷が始まり、国内産は安定した入荷となる。輸入物も終盤となり、国内産中心の販売なる。</p>				
枝も	実績	24年	1,676	42	
		25年	1,136	45	
		26年	1,607	42	
		27年	1,558	48	
		28年	1,540	49	
	5ヶ年平均		1,503	45	
	29年見通し		1,550	48	
概要	<p>長野、静岡、岐阜を中心に入荷。前半は歓送迎会等もあり、活け込み花材の引き合いは強め。葉物も国産品が多くなる。中旬までは強含みの展開。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	24年	38,494	470	
		25年	41,367	406	
		26年	32,258	432	
		27年	37,944	455	
		28年	34,437	488	
	5ヶ年平均		36,900	449	
	29年見通し		33,000	455	
概要	<p>入荷量は昨年より大幅に減少か。ここ数年の価格の低迷により、昨年引き続き、今年も更に作付け減少している。価格面では通常競売では5号鉢で600～800円が相場と思われるが、一部産地では注文のみとなり競売出荷分が無くなる可能性もあり、競売で品薄高になることも予想される。更に、連休が近づくと引き合いも昨年よりも強くなる見込み。                      昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉（47.4%）、2位長野（28.9%）、3位愛知（8.4%）となっている。</p>				
ファレス	実績	24年	48,888	2,696	
		25年	47,419	2,767	
		26年	41,605	2,704	
		27年	50,298	3,058	
		28年	43,016	2,897	
	5ヶ年平均		46,245	2,828	
	29年見通し		43,000	2,898	
概要	<p>入荷量は昨年並か。価格面は昨年同様見込める予想。大輪系は4月上旬にしっかり当て込む。昨年以上に相場が上がる可能性があるので事前に調整していただきながら出荷に繋げていただきたい。ミディー系は上旬と下旬に出荷量を増して欲しい。                      昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知（53.0%）、2位静岡（11.5%）、3位熊本（8.0%）となっている。</p>				
バラ	実績	24年	89,476	259	
		25年	84,312	246	
		26年	75,733	240	
		27年	79,440	304	
		28年	89,611	249	
	5ヶ年平均		83,714	259	
	29年見通し		90,000	248	
概要	<p>入荷量は、昨年並か。今年、母の日が暦上一番遅いため4月下旬は、相場面での様子見が考えられるが、良品出荷をお願いしたい。                      昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（46.1%）、2位岐阜（40.5%）、3位愛媛（4.1%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	24年	199,070	608	
		25年	176,013	652	
		26年	166,426	688	
		27年	204,879	744	
		28年	217,051	764	
	5ヶ年平均		192,688	694	
	29年見通し		218,000	761	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。3月の朝晩の冷え込みで早期出荷分の遅れが見込まれ、出荷ピークは5月上旬になる。玉・ガクともに覆輪咲きを中心に安定した動き、5号中心だがポットは、4号までのニーズも高まっているため作付け増をお願いしたい。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(65.3%)、2位群馬(13.8%)、3位島根(3.8%)となっている。</p>				
スパティファイラム	実績	24年	25,217	436	
		25年	23,626	456	
		26年	28,609	393	
		27年	28,370	291	
		28年	24,439	357	
	5ヶ年平均		26,052	384	
	29年見通し		25,000	348	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今年は気温がまだ低いので引き合いは4月入ってからになる。3号鉢は母の日の寄せ籠の素材として引き合いはある。輪数をいかに多く出荷できるかで単価は大きく違うのでできるだけ輪数を増やす努力が必要である。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(35.1%)、2位愛知(20.7%)、3位静岡(19.2%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	24年	73,779	345	
		25年	75,728	329	
		26年	91,690	307	
		27年	166,101	370	
		28年	202,439	392	
	5ヶ年平均		121,947	360	
	29年見通し		190,000	389	
概要	<p>入荷量は昨年より大幅に減少か。今年は母の日が暦上一番遅いので、入荷量は昨年の30~40%の予想で大幅減となる見込み。4月中の出荷のほとんどが競売品になり、価格面でも下がると予想。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(33.8%)、2位群馬(26.9%)、3位埼玉(7.6%)となっている。</p>				

「あいち産」を  
選んでね！

あいまるだよ



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)  
=もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.526  
平成29年4月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434